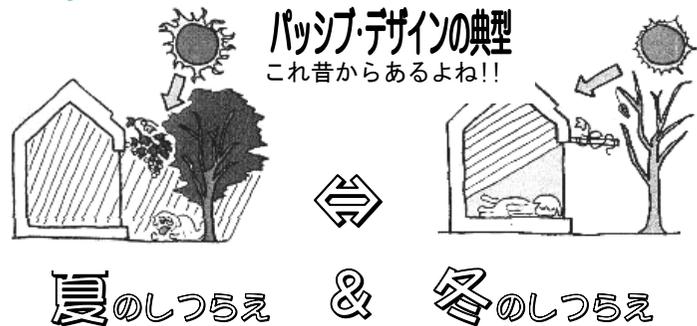


パッシブなデザインの一例をご紹介します!!大きな機械に頼らず、日射や風など自然のエネルギーを建築的に利用する設計です。



冬のパッシブ・ソーラー 施工例

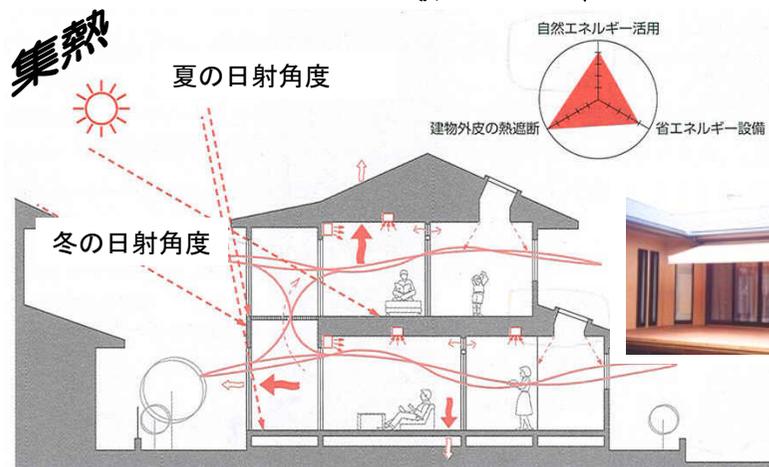
冬の日射を、高気密な南面の大きな窓・高窓・天窗から取り込みます。
 ⇒ 太陽熱は蓄熱性の高い床（大谷石の土間など）にダイレクトゲインから暖気を廻します。また土間の蓄熱は輻射熱を利用し、夜間まで持ち越します。
 輻射式の薪ストーブやペレットストーブがあるといいですね。バイオマス燃料でカーボンニュートラルというCO2削減にも繋がります。補助暖房としてまた、自然な暖房効果を得る方法がパッシブソーラーの最大の魅力です。

窓⇒集熱
床⇒蓄熱



『ローテクで快適な暖房』の考え方

パッシブ・ソーラーの暖かさは、とてもゆるやかに自然です。温風ではなく床からの輻射熱で暖めるからです。



↑夏の日差しは…
 ●落葉樹の植栽
 ●深い軒の出
 ●オーニング
 で日射遮光します



←冬の日差しは
 ①大きな開口窓
 ②高窓
 ③天窗等で取り込み
 土間にダイレクトゲインで蓄熱させます。→



↑ベランダは…
 ●デッキを透明で丈夫なFRPグレーチングに交換
 ●夏の日差しはオーニングで日射遮光します。

『パッシブ・デザイン』をお薦めする理由

日本の産業廃棄物のうち約20%を建設廃棄物が占め、民生部門のエネルギーのうち約45%を住宅が占めると言われる。社会全体の環境負荷の低減を図るには、この住宅建築をいかに環境配慮型に変えていくかが重要な課題です。住宅建材のリサイクル率向上や生活エネルギー使用量減少はどうすれば可能なのか？わたしたちは伝統的な素材、工法に関わる最先端の知識に触れ、エコロジカルな視点から物事を考えていきます。毎年約40万戸建つ戸建住宅は、最新の省エネ技術、性能を持ちます。しかし、もうすでに建ってしまっている既存住宅1500万戸はどうすればいいのでしょうか？

立て替えばで、産業廃棄物と大量のゴミの問題を残します。また、大きな機械装置（多大な製造エネルギーや廃棄時に掛かるエネルギーやリサイクル性に課題がある省エネ装置）の導入で複雑なエネルギー変換を図る「アクティブな省エネ」より、なるべくそのままの形の自然エネルギーを使う「パッシブな省エネ」をわたしたちは心がけてまいります。既存住宅を出来るだけ長く使う「恒久住宅」「良質な住宅ストック作り」をめざし、住宅の改修を通じ、環境負荷低減、省エネ化を心がけてまいります。

『200年住宅』について考えましょう。

国の「200年住宅」の中で、「良質な住宅の価値」の基準として「住宅改修の履歴」が注目されています。住宅先進国アメリカでは、住宅は金融商品であり、国民は「資産価値」に大きく影響する「リモデル」を繰り返し、国はその「履歴を認定」する社会です。約10年前「東急アメニックス」（リフォームの先駆者）は、業界に先駆け「工事履歴」システムを導入しています。200年住宅での「工事履歴」のフレームは完全に見えていませんが、アップルは、2002年創業以来、全ての「リモデル工事履歴」をTKC全国会（税理士・公認会計士の全国ネットワーク）で保存しております。これまで、これからリモデルされるお客様の「工事履歴」は「アップルとTKCの工事台帳で大切に保管されます。スクラップ&ビルドを繰り返すことで経済成長を遂げ、その結果、住宅寿命30年という世界に例を見ない日本の住宅事情を作り出し、在職中に払い続けたローンが終わるころ、またもや建て替えを余儀なく、退職金までもターゲットにしてきた住宅産業。政府の「200年住宅」の推進が正しい方向に向かい住宅が「社会資本」として認められ長く使い続けられる社会に期待し、名実共に「200年住宅社会」が実現することを心から願っております。 株式会社アップル 代表取締役 大竹清彦



URL <http://www.reform-apple.com/>
 info@reform-apple.com

■リフォームアップル自治医大店 ■アップル建築設計事務所
 〒329-0434 栃木県下野市祇園1-20-1 ☎0285-44-8208 <fax共通>
 お問い合わせ:料金無料のフリーダイヤルで 0120-393-897